

2023年
4月8日[土]
14:00開演
(13:30開場)
会場 実相院

GEN MATSUDA CLASSICAL GUITAR CONCERT

松田 弦
クラシックギター
コンサート

実相院コンサート

【プログラム】

*ヨーロッパの名曲より

J. S. バッハ「無伴奏チェロ組曲第1番」よりプレリュード

パガニーニ「ギター・ソナタ」第18番、第33番

パガニーニ「24のカプリス」より第5番

タレガ「アルハンブラの思い出」

アルベニス「入江のざわめき」

ファリヤ「粉屋の踊り」

*南米の名曲より

ヴィラ＝ロボス「ガヴオット・ショーロ」

バリオス「郷愁のショーロ」

ピアソラ「プエノスアイレスの四季」より

*映画音楽より

「ピノキオ」より 星に願いを

「オズの魔法使い」より オーバー・ザ・レインボー

「ディア・ハンター」より カヴァティーナ

他

入場料

中学生以上 2000円

中学生未満 1000円

*小学生未満のお子さんが座席を使用せず保護者の膝上で鑑賞する場合は、入場料は無料です

チケットは2月24日の午前10時から

実相院で発売いたします

定員(70名)に達し次第、販売終了

東京都中野区沼袋4-1-1 実相院

電話 03-3386-2472

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
マスク着用の上、ご来場下さい。

*やむを得ない事情により曲目等が変更となる
場合があります

主催:実相院



松田 弦 クラシックギター コンサート



松田弦 Gen Matsuda

高知県出身。16才からクラシックギターを始める。早稲田大学卒業。2011年から2年間フランスのストラスブール音楽院に学んだ後、オーストリア、イタリア、スペインで研鑽を積む。アリカンテ大学(スペイン)主催のマスター修士課程修了。これまでに、松居孝行、村治昇、新井伴典、今村泰典、アレクシス・ムズラキス各氏等に師事。2009年第52回東京国際ギターコンクール第1位、2013年アントニー国際ギターコンクール(フランス)第1位(あわせて課題曲賞と聴衆賞を獲得)受賞。「GENIUS」「弦想～Gen-Soul～」「esperanza」「Evergreen」「Covers」の5枚のソロCDの他、新井伴典(ギター)とのデュオで「夏の列島」「ジャック・イベール作品集」「エンリケ・グラナドス スペイン舞曲集」、泉真由(フルート)とのデュオで「海へ」「リベルテ」、澤菜穂子(ヴァイオリン)とのデュオで「夢弦」などのCDがある。近年は、文化庁主催の「芸術家の派遣事業」として小中学校でワークショップや公演を行うなど、若い世代へギターを紹介する活動も積極的に行っている。<https://genmatsuda.b-sheet.jp/>

【ご来場の皆様へ】

作曲家の名前や曲名を覚えていなくても、メロディーは知っているという曲がいくつかあるでしょう。テレビやコマーシャルで流れ印象に残った曲の中には、ちょっとだけなら口ずさめるというような曲もあるのではないかでしょうか。クラシック音楽はさりげなく、私たちの生活の中に浸透しています。バッハの傑作「無伴奏チェロ組曲」、トレモロが美しい「アルハンブラの思い出」、映画からうまれて今やスタンダードナンバーとなっている「星に願いを」「オーバー・ザ・レインボウ」など、誰もが一度は聴いたことがある曲にあらためてじっくり耳を傾けると、新しい発見があるような気がします。他に、クラシックギターの美しい響きを十二分に楽しめる作品でプログラムを組みました。華やかで優美なスペインの作品だけでなく、熱狂と情熱の国と思われがちな中南米の、哀愁に満ちた音楽も味わって下さい。古い記憶がよみがえるようなバリオス(パラグアイ)の「郷愁のショーロ」、福山雅治がギタリストを演じた映画「マチネの終わりに」でも効果的に使われていたヴィラ＝ロボス(ブラジル)の「ガヴォット・ショーロ」。もう一度聴きたくなるような音楽との出会いが、ここにありますように。

実相院コンサートは、お寺をより身近に感じて頂くため、本堂を会場として続けている演奏会です。繊細で優しい音色、驚くようなダイナミックな響き、曲によって表情を変えるクラシックギターの魅力を存分にご堪能下さい。音楽とのふれあいが、皆様の明日への希望につながりますように。

実相院
コンサート